

※本資料は、今後の当局 (IASB・FASB・ASBJ等) の動向、方針、制度に対する弊社の見解を示す資料であり、その内容の正確性または完全性を、(明示的にも暗示的にも) 表明あるいは保証するものではありません。

「IFRS9の限定的な改訂」に関する公開草案を公表

IASBは、2012年11月28日に、IFRS9の限定的な改定案を公表しました。コメント募集の締切は2013年3月28日です。

✓ 主な改定内容は、以下となります。

- 一定要件を満たす負債性金融商品(ローンや債券)をその他包括利益(OCI)を通じた公正価値で測定する分類を新設
- 契約上のキャッシュフローの特徴の明確化
- 金融資産の管理に関する事業モデルについての適用指針の追加

【負債性金融商品(ローンや債券等)のOCI分類に関する改訂ポイント】

✓ 負債性金融商品をOCIで測定する分類には、以下の2つの要件を満たす金融資産が該当します。

要件

金融資産の契約上のキャッシュ・フローが、元本及び利息の支払のみからなること(=適格負債性金融商品)

「金融資産のキャッシュフローの回収」及び「金融資産の売却」の2つの目的で当該金融資産を保有する事業モデルに基づくこと

✓ 新設分類の追加により、IFRS9における金融資産の分類は以下の通りとなります。

IFRS9の測定分類		純損益(PL)とその他包括利益(OCI)への反映					
		利配収入	償却原価 (償却額)	減損	時価変動	売却損益	
公正価値	FVTPL	PL	—	—	PL	PL	
	FVTOCI 新設	資本性 金融商品	PL	—	—	OCI	OCI
		負債性 金融商品	① PL	① 要 (PL)	② PL	③ OCI <small>リサイクリング</small>	④ PL
償却原価		PL	要 (PL)	PL	—	PL	

FVTOCI(負債性金融商品)の会計処理

- ① 利息収益は、償却原価分類と同様に実効金利法により、当期純利益(以下 PL)として認識する
- ② 減損損失は、償却原価分類に適用される減損モデルにより、PLに含めて認識する
- ③ 公正価値の変動による利得及び損失は、その他包括利益(OCI)で認識する
- ④ 当該金融資産の認識が中止された時、OCIからPLへ振替える(リサイクリングする)